

## エコロジカルな回心 —すべてのいのちを守るため—

浦上修道院

環境に配慮して、私たちが日常生活の中でできることを話し合い、少しずつ実践に移し始めたのは2020年でした。

まずは、SDGsについての勉強会を企画しました。中学生の教材を用いての小さな勉強会でしたが、世界の国々、地域や企業がすでに取り組んでいる社会の動きを知る機会となりました。現在、共同体として、またそれぞれ個人が工夫しながら取り組んでいることを紹介します。

### ○朝食用の牛乳を200mlサイズから1ℓサイズに変更

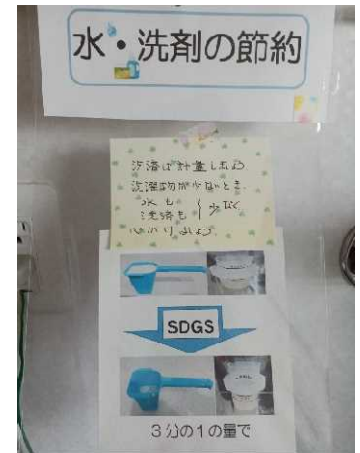
200mlのパックはリサイクルとして回収されず、大きな共同体では、毎朝、大量のゴミを出すこととなります。そのため1ℓサイズの牛乳に変更しました。これによってコスト削減にもなり、パックをリサイクルに回すことができます。

### ○二酸化炭素の排出を抑えるために

毎日の生活の中で、節電や節水を心がけています。静修前日の消灯を9時半にしたり、夏場の空調使用時には、換気も必要ですが、居室や廊下の温度を上げない工夫として、外気の熱風をなるべく入れないようにします。また、それぞれが担当する掃除場所においても掃除機を使わない日を設けています。

節水はSDGsの目標6の達成のために効果的だと言われています。洗濯時の洗剤の量を計量するように貼り紙をして、たくさんの水を使用することがないように促しています。

食事後の食器洗いでは、油汚れを布や紙で拭き取ってから洗ったり、水の浄化のために米のとぎ汁を流す時は、EMを入れます。通勤に車を使わないことで、二酸化炭素の排出を抑えることにもつながっています。



### ○食品ロス

食事は年齢や嗜好の違い、準備してくださる業者との関係もあり難しい問題です。これまで、様々な工夫をして食品ロスに取り組んできましたし、現在もその試みは継続中です。その中の一つは、以前、業者が行っていた昼食用の炊飯を修道院で行うように切り替え、残りの量を調節しています。

### ○その他

修道院や学園周辺の整備です。修道院の周りの花壇や近くの公園までの道路沿いそして学園前の街路樹の下を整備し、花を植えて、私たちはもちろんのこと、訪れる方々や行き交う人々をなごませてくれる姉妹たちがいます。

定期的ではありませんが、浦上川の清掃活動も行いました。

すべてのいのちを守るための月間が始まります。今年のテーマは「被造物に耳を傾ける」です。教皇様と心を合わせ、ともに暮らす家のために祈り、次の世代へとつなげていくことができるように、小さな行いを継続し、新たなチャレンジに努めていきたいと考えています。